

平成 27 年 4 月 15 日

## 4 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は順調だが、このところの降雨で悪路となり、材の搬出に若干の影響。入荷量は平年並。好調だったスギ柱材は通常の引合いに戻り、中目材は当用買いの様相が強く、目粗材に応札なしが見られた。ヒノキは生産調整されている中で全体に引合いは弱い。価格は製品の需要不振が続く中で、堅調に推移していたスギ柱材も含めて全面安の展開。スギ、ヒノキともに柱材が弱保合で、中目材は値下がり弱含み。

群馬の製材工場の操業状況は、3 月に入り若干の荷動き感。操業は順調だが製品の先行き不透明で生産調整が必要。製品販売は 1 月中旬から悪くなり、公共物件の 3 月完了に伴い、製品市場の多くで荷動き感はない。製品在庫は増加、特にヌキなど羽柄に荷余り感。原木の出材は順調で入荷も多いが、年度末に若干減少。原木在庫は十分な手当が進み、山土場や原木市場、工場でも増加傾向。製品価格は変動少なく安定、一部で安売り感。

### 2. 米材

輸出向け丸太は、日本・中国ともに引合い低調。米国国内製材も東部向け製材出荷が低調で原木在庫は潤沢。産地港頭在庫はサプライヤーの生産調整で健全化。ウェアハウザー社の 4 月積み対日米マツ価格は、3 月積比 \$ 30 ダウンの \$ 820 (推定) で決着。米材丸太の入荷は、米国積出港の労使問題で滞船、2 月は低調な結果。出荷は 3 月に入り回復の見込み。在庫は横這い。国内の大手港湾製材工場は、製品販売が低調で前年同月比で減産続く。米加針葉樹製材品協定に基づくカナダから米国への輸出税が 2 年ぶりに 4 月から発効。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)3 月の入荷量は 32.3 千 $m^3$ (前月比 2.3%増)、出荷量は 27.1 千 $m^3$ (同 6.3%減)。在庫量は 48.6 千 $m^3$ (同 12%増)。ランダムレンジス紙 15 種平均価格は、昨年 11 月から 3 月中旬まで続落となったが、その後 \$ 336/ $m^3$ まで回復。18 か月ぶりのカナダ輸出課税は現状マーケットに特に影響なし。大手サプライヤーの QTR2 積 DF 小角 \$ 430/ $m^3$ 、垂木 \$ 430/ $m^3$ レベルで決着したが、成約数量は激減。SPF 2×4J グレードは \$ 485/Mfbm で弱含み。3 月も分譲住宅向けの受注減により在庫が減らず、今月も当用買いの動き多く荷動きは鈍い。先行き受注が厳しい中で、5 月の連休明けに期待。国内在庫は高水準で

は無いが、荷動き悪く徐々に増加。各社円安によるコストアップを売値に転嫁できず。

### 3. 南洋材

サバは旧正月後の天候回復で旺盛な輸出需要に向け伐採活発。サラワク出材減でインド等がサバ材を買占め相場は強気の状況。現地製材工場は原木手当が厳しい中、製材品は中東など好調な市場向けに集中し、対日出荷量は減少。サラワクは天候回復後も不法伐採取締が更に強化され、原木出材・出荷とも大幅に減少。製材工場の原木不足も慢性化し出荷量は減少続く。PNG ソロモンは天候回復で出材は安定したが、中国勢の買付は若干低迷。丸太は入・出荷、在庫ともに横這い。製材品入荷は減少。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品は無垢平割、棒類、デッキ材等入荷少なく相場は平靜。集成材も動き悪く価格は横這い。

### 4. 北洋材

ロシア極東は政府介入によりカラマツは単板、エゾマツは原盤としてダリレスプロム主導で中国市場中心に販路拡大。シベリア地方は異常天候で融雪が進み搬出に影響。経済悪化に伴い対日製品にも5月末から影響が出る見込み。富山新港の3月の丸太入荷は4.4千 $m^3$ 、原盤入荷は7.0千 $m^3$ 。在庫は丸太4.7ヶ月分。価格動向は丸太はオファーなく弱含み、製材品は現地挽きが弱含み、国内挽きは変わらず。荷動きは現地挽き製品が東京、川崎で対前年7.0%増。国産製品は、現地挽きの影響で低調だが3m材は品薄で需要有り。国内の北洋材製材工場は製品評価悪く不採算。稼動状況は丸太減少で生産調整続く。受注状況は建売物件の売れ残り多く、3月の住宅着工も最低の水準。

### 5. 合板

原料丸太のうち国産材価格は、スギが横這いだがカラマツは品薄で強含み。ロシア材はルーブル安や他国の引合い弱く下げ相場。米材は内需弱く弱含み。南洋材は集材難が続き、高値で張り付いたまま。2月の国内総生産量22.6万 $m^3$ のうち針葉樹合板は21.4万 $m^3$ 、出荷量は17.9万 $m^3$ で生産量が出荷量を大幅に上回る。在庫量は24.4万 $m^3$ で依然高水準の状態。販売価格は、メーカーは4月値戻しを唱えるも、現状の需要環境や在庫量を考慮すると厳しい状況は変わらず。

国産針葉樹合板の相場は3月を通して下がり続けた。大手メーカーの値戻し宣言で一時的に受注増となったが、需要環境や過剰在庫を背景に先行き不透明な展開。輸入合板は一部では3月商社決算による安値販売を期待したが、小安い展開で大きな乱れなし。荷動きはおとなしい状況が続く。先行き針葉樹合板

は大手メーカーの4月値戻し唱えもマーケットは同調しないと予測。輸入合板はコスト割れが言われる中で、入荷量も低水準が続く。流通在庫は針葉樹、輸入ともに潤沢。荷余り品目は針葉樹全般と輸入12mm。品薄品目はラワン構造用9mmとウレタン2×6サイズ。

## 6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は順調。€為替が円高時の玉が入港し、円貨ベースでは下がってきた。QTR2ラミナ価格は交渉中だが、前回比で5~10€高が多い。国産集成材の受注はプレカットの勢いなく通常の20%減少。3月の荷動きは悪く、減産までは至っていないが、安値を出すメーカーも出始めた。販売先行きは夏までは厳しい状況続くと予想。在庫は適量に戻りつつある。価格は1-3月のプレカットの稼働率が予想以上に低く、荷動きも悪かった。集成材の需要不振が続き、価格はジリ安基調で底値が見えにくい状況。輸入集成材は、高いもので58,000~60,000円/m<sup>3</sup>。5月からシュバイ社のRW梁桁が入港予定。WW柱はジリ安基調。間柱は不足感があるものの順調な入港で、若干売りづらい状況。

## 7. 市売問屋

国産材の構造材は、新築需要が不振のためスギ、ヒノキの動きは依然低調。造作材はリフォーム、増改築で小動き続くが、全般に荷動きは低迷し、先行きの不透明感が増す。外材の構造材はベイマツKD平角が動き悪い。WW集成管柱も在庫意欲少なく動き悪い。造作材は米ツガ、スプルース、ピーラーの建築用材の動きも鈍る。販売動向は、買方の見積もりはあるが成約率は低い。市場へ来場の買方も手持仕事量少なく、特殊品を除き必要当用買い。4月に入り春需本番を迎えるが、今のところその気配は感じられない。

## 8. 小売

国産材の構造材はスギ、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツ垂木保合、米ツガKD角、平割保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルース良材、ナラ、タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹合板が3月の安値販売が無くなり幾分の値上げ、ラワン合板は保合。床板・フロアの低価格品強保合。工務店は幾分明るさが出てきたが、仕事にバラツキがあり苦戦。

4月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↗	↗	↗
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	↘	↘

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↗	→	↗

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
スギタルキ3.0×4.0×4m	→			
ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード (カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	↗
米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→			
米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
東京・問屋店頭 渡し価格		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40 AB	→
		アカマツ(KD)15×45AB 18×45AB	→	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
		ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↘	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↘
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→